

介護と介護事業を守り、よくする！
「学び」「共感」「モチベーション」をもたらす研修シリーズ

天晴れ介護サービス式法定研修 災害対策

■介護と介護事業を守り、よくするために

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

44

本日の内容

介護職が災害対策を学ぶことは、利用者の命を守り、安全な避難や生活支援を行うために不可欠です。災害はいつ発生するかわからないため、事前の備えと知識が、利用者と介護職自身の安全を確保するカギとなります。

- ・ 高齢者や要介護者は災害時に特にリスクが高いため、適切な対応が必要
- ・ 迅速な避難行動を取ることで、利用者の命を守ることができる
- ・ 施設・在宅介護の災害対策を整備し、混乱を防ぐことができる
- ・ 家族や地域と連携し、支援体制を強化できる
- ・ 災害時のストレスやメンタルケアを学び、心のケアも実践できる

介護職が災害対策を学び、日頃から備えておくことで、万が一の災害時にも落ち着いて利用者を守ることができます。

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

45

講師プロフィール

- ◎昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員
- ◎京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
- ◎社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の実務に携わる
- ◎15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的に独立
- ◎著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間400回を超える
- ◎ブログ、facebook、毎朝5:55のライブ配信など毎日更新中
- ◎YouTubeや動画ライブラリーでは500本以上の動画を配信
- ◎介護と介護事業を守り、よくする！「事業経営&教育インフラ」リーダーズ・プログラム（年会費制）主催
- ◎4児の父、趣味はクラシック音楽
- ◎天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索



- 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師
- 全国有料老人ホーム協会 研修委員 ■稲沢市 地域包括支援センター運営協議会委員
- 7つの習慣アカデミー協会 認定ファシリテーター
- 出版実績：中央法規出版、日総研出版、ナツメ社、その他10冊以上
- 平成20年第21回GEヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
- 榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

46

本日の内容

災害対策

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

47

介護事業所と災害対策

- ◎最近、自然災害が頻発している
地震、豪雨、そして猛暑までもが災害と認定されている
- ◎介護事業所は自然災害に対して、よりシビアでなければいけない
なぜかと言えば、ほとんどの利用者が自力で避難できないということ
そして、災害後の暮らしについても
生命の危機に関わるということが想定されるから

介護事業所と災害対策

- ◎よく、自然災害対策について
「マニュアルを整備しても現実はそのとおりにならないから意味がない」
「訓練しても実地では役に立たない、最後は臨機応変で」
といった声を聞くが、これは大きな間違い
- ◎いざ災害が起きた時にどれだけの人が臨機応変に対応ができるか？
ほとんどの人が立ち尽くすだけになりはしないか？
動けたとしても統制されないため、組織的な動きにはならない
- ◎地震が起きたら（夜間含め）？入浴中は？送迎中は？訪問中は？
介護事業所の業務は多様であるため、対策も多様に考えておく必要がある
マニュアルや訓練が役に立たない、というのであれば、
少しでも役に立つように内容を見直すことが大切

介護事業所と災害対策

- ◎想定される自然災害にはどんなものがあるか？
- ◎地震、火災をはじめとして、水害、津波、噴火、土砂、豪雪……など地域によって重要度は異なるが、様々にあることが分かる
- ◎それでは、必要な自然災害対策とは何か？
大きく3つ、つまり
 1. 事前対策
 2. 災害発生時の被害軽減策
 3. 災害発生後の業務継続対策
- ◎まず、火災と地震について見ていきたい

火災（事前準備）

- 不燃性、難燃性の材質への切り替え（カーテンなど）
- たばこやライターの管理
- カセットコンロの取扱（必ず見守り、側に燃えやすい物がないか）
- 感知器などの設置
- 消火器の配置
- 持ち出しファイルの準備
（最新名簿、居室配置図、利用者連絡先、利用者台帳、薬の情報など）
- ヘルメット、防煙・防塵マスク
- 近隣のバックアップ体制（運営推進会議、地域の防災訓練）
- 普段の点検
 - 消火器・通報機器の点検
 - コンセントのほこり除去（トラッキング）
 - カセットコンロの取扱が守られているか点検
 - 持ち出しファイルが最新か点検

火災（発生時の被害軽減策）

◎災害発生時に少しでも被害が小さくなるような動きの周知・徹底

◎また、地震による火災発生リスクがあることも理解しておく

→配線の破損などで漏電火災が起こることがある

→地震後はスプリンクラーが破損し、作動しないことがある

→停電回復時に通電した際に火災が発生することがあるため
ブレーカーを落とすなどの対処が必要

火災（発生時の被害軽減策）

※日中・夜間別に行う

➤発見・通報

出火の確認はどのようにするか？

警報・通報機器の見方、取扱方法は分かるか？

消防署への連絡方法、言葉は分かるか？

法人内の連絡はできるか？

➤初期消火

消火器の場所は分かるか？

消火器の使い方は分かるか？

➤避難方法

認知症の方の避難方法は分かるか？

車いすの方の避難方法は分かるか？

寝たきりの方の避難方法は分かるか？

階段での避難方法は分かるか？

タオル等を口に当てて、煙を吸い込まないようにする

火災（発生時の被害軽減策）

➤ 避難経路

- 出火場所によって避難経路が異なる
 - 台所等想定して、経路を定めているか？ 消防署の助言はあったか？
- 事業所によって異なるため、事業所ごとの避難経路図が必要
 - 原則、火元に近い人から避難する。出火場所から遠い方へ避難する。
- 2F以上なら、ベランダに出て消防署の救助を待つなど、個別に消防署へ相談する必要がある

➤ 点呼・安否確認

- 点呼するための名簿は確実か？
- ケガや被害の確認
- 応急処置は行えるか？
- 医療機関への連絡は可能か？

地震（事前準備）

- 持ち出しファイルの準備
 - （最新名簿、居室配置図、利用者連絡先、利用者台帳、薬の情報など）
- 食糧、水などの備蓄
- オムツ、薬などの備蓄
- 家具の固定、ガラス飛散の防止
- ヘルメット、防煙・防塵マスク
- 近隣のバックアップ体制（運営推進会議、地域の防災訓練）
- 職員の緊急招集の仕組み

➤ 普段の点検

- 家具の固定状況、危険箇所の有無の確認
- 消火器の点検
- 通報機器の点検
- コンセントのほこり除去
- 持ち出しファイルが最新か点検

地震（発生時の被害軽減策）

※日中・夜間別に行う

➤地震直前の対応

- 緊急地震速報の活用
- 大型備品・家具、窓ガラスの側にいる人は別の場所へ避難
- 頭部の保護（利用者、職員自身）

➤地震直後の対応

- 頭部の保護（利用者、職員自身）
- 不安がないような声かけ

➤デイルーム

- 利用者の頭に座布団などを乗せ、車いすをおさえてしゃがみ、揺れが収まるのを待つ
- 調理中は包丁などをしまう
- 揺れが収まってから火を消す

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

56

地震（発生時の被害軽減策）

➤居室内

- 介助を止め、利用者の頭を布団等で保護、ベッド脇にしゃがみ、揺れが収まるのを待つ
- ベッド上の利用者が転落しないように見守る
- カーテンを閉めるとガラスの飛散が防げる

➤入浴中

- 利用者が立ちあがって転倒したり、おぼれないように支えながら脇にしゃがみ、揺れが収まるまで待つ
- 鏡やガラスから離れる

➤エレベーター内

- 全ての階のボタンを押して、止まった階で降りる
- 車いす等を押さえながら揺れが収まるのを待つ
- 閉じ込められた場合はインターホンで連絡を取り救出を待つ

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

57

地震（発生時の被害軽減策）

➤送迎中

- 慌てずにゆっくり車を道路脇に寄せて、エンジンを停止
- ラジオから情報収集、携帯が通じれば事業所に連絡

➤点呼・安否確認

- 点呼するための名簿は確実か？
- ケガや被害の確認
- 火災の有無の確認
- 応急処置は行えるか？
- 医療機関への連絡は可能か？

➤連絡・その他

- 必要に応じて消防署への連絡方法、言葉
- 法人内の連絡
- 必要に応じて屋外への避難、広域避難所

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

58

災害発生後の業務継続

◎3の災害発生後の業務継続については

まず職員不足による業務継続の困難がある

◎地震や水害の場合には職員も被災するため、出勤できなくなることが想定
出勤までの交通経路も遮断される可能性もある

◎ライフライン（電気・ガス・水道）の障害によっても業務量が増大

◎事業所によっては、普段の利用者以外の受け入れも行うことになる

◎その他、ケア用品や介護用物品の不足、食事では何と言っても備蓄

◎嚙下困難者への備えや脱水予防も必須課題

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

59

災害発生後の業務継続

- ◎排泄については、生活用水は限定されるため、水を使わない処理が求められる（消臭固化剤が有効）。
- ◎暑さ、寒さといった気温についても、要介護者にとっては生命に関わる自家発電の重要性や、冷凍庫、アイスノン、扇風機など
- ◎電気についても痰の吸引、在宅酸素、照明、ナースコールの維持等の観点

災害発生後の業務継続

防災計画と自然災害 BCP の違い①

	防災計画	BCP
主な目的	<ul style="list-style-type: none"> ・身体、生命の安全確保 ・物的被害の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体、生命の安全確保に加え、優先的に継続、復旧すべき重要業務の継続または早期復旧
考慮すべき事象	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点がある地域で発生することが想定される災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の事業中断の原因となり得るあらゆる発生事象
重要視される事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下を最小限にすること <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「死傷者数」 ➢ 「損害額」 ・従業員等の安否を確認し、被害者を救助・支援すること ・被害を受けた拠点を早期復旧すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記に加え、以下を含む <ul style="list-style-type: none"> ➢ 重要業務の目標復旧期間・目標復旧レベルを達成すること ➢ 経営及び利害関係者への影響を許容範囲内に抑えること ➢ 利益を確保し企業として生き残ること
活動、対策の検討範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の拠点ごと 	<ul style="list-style-type: none"> ・全社的（拠点横断的） ・依存関係にある主体（委託先、調達先、供給先）

本日の内容

災害対策

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

62

継続的な学習の重要性！

■成長のために

- ・ ギャップを埋める & 強みを活かす
- ・ 時間とエネルギーをかけた分だけ成長する
- ・ よい情報を浴び続ける、そういう 環境に身を置く
- ・ 成長は螺旋階段、その時々で 受け取るものも違う
- ・ ミラーニューロン効果（思考・行動に影響、時間差で効果!）、感度が高まる
- ・ 知れば知るほど分からないことが増える、知りたいことが増える
- ・ 学びが理想をつくり、理想が学びを生む

■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ 定期的に軌道修正させてくれる、人・環境の存在が必要

■自分自身、そしてチームワーク

- ・ シャンパンタワー：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ 研修はチームで参加、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

63

継続的な学習の機会を持つために



影響力・インパクト



回数・頻度



$$\text{習慣化} = \text{インパクト} \times \text{回数}$$

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

64

介護現場をよくするライブラリー

ACS Appare Care Service 介護現場をよくするライブラリー



ホーム



セミナー



お気に入り



閲覧履歴

会員ログイン

キーワードで探す



経営から現場まで！介護と介護事業を守り、よくする「教育インフラ」リーダーズ・プログラム

初めての方へ



2週間体験利用 受付中!
詳しくはこちら >

日々更新中！公式サイト・SNS



お知らせ [お知らせ一覧 >](#)

セミナー
【おススメ！セミナー動画】介護現場をよくする21のテーマ！
ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」
【おススメ！セミナー動画】のご案内です。介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023第22回「事業計画・目標達成」～事業・サービスの継続・発展のために～https://appare-kaigo...

セミナー案内 [セミナーをもっと見る >](#)

4月16日 (火)
14:00~16:00
管理職養成2024
管理職 リーダー 本部 管理者

4月17日 (水)
14:00~15:30
介護事業の教育インフラ！リーダーズ・プログラム 会員限定グループコンサルティ...
会員限定 リーダーズ・プログラム

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

65

研修・動画の内容 経営から現場まで500本以上！

- 経営者・経営幹部向けセミナー（20時間相当＋α）
- 管理職向けセミナー（20時間相当＋α）
- ケアマネジャー向けセミナー（10時間相当＋α）
- 全職員向け法定研修シリーズ（10時間相当＋α）
- 新人職員向けセミナー（10時間相当）
- 赤本・青本・緑本通読セミナー（20時間相当＋α）
- 1日集中講座シリーズ！（30時間相当）
（稼働率、人材確保、管理職養成、実地指導、ケアマネジメント等）
- 令和3年度介護報酬改定セミナー（10時間相当）
- リーダー、相談援助職のための説明力向上講座（5時間相当）
- 最新情報&トピックス「マンスリー・ジャーナル」（20時間相当）
- 工藤ゆみさんのコミュニケーション力向上講座（20時間相当）
- 進絵美さんの面談スキル向上講座（5時間相当）
- 吉村NSの看護セミナー（5時間相当）
- ケアマネジャー受験対策セミナー（15時間相当）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

66

こちら是非ご覧ください！

天晴れ介護サービス公式LINEに登録して
「お得情報」と「特典動画」「限定セミナー」を
手に入れる！

特典動画は「経営から現場まで！
介護事業の持続的な成功を実現する3つの取り組み」！

天晴れ介護サービスYouTubeチャンネルに
登録して「無料動画」で楽しく学習する！

約400本の動画＋数分のショート動画もあります！
気軽に学ぶには最適です！

facebookグループ
介護と介護事業を守り、よくする！
1000人の仲間たち\(^.^)/
に参加して「毎月の介護ニュース」を見る！

毎月1回、グループ限定で「介護ニュース」を配信中！
facebookでは毎朝5:55のライブも開催しています

天晴れ介護サービス公式メルマガに登録して
「最新情報」と「特典動画」を手に入れる！

毎週4,000字の情報＋特典動画！
特典動画は…これから用意しますm(__)m



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

67

天晴れ介護サービス法定研修

ご清聴ありがとうございました！



天晴れ介護サービス総合教育研究所

代表 榊原宏昌